

第5回山口県地震・津波防災対策検討委員会の議事概要

1 日 時 令和7年8月25日(月) 14:00～16:15

2 場 所 山口県庁 本館棟4階 共用第2会議室

3 出席者 検討委員会委員(15名出席、1名欠席)

4 議 事

①南海トラフ・周防灘断層群地震津波被害想定の見直しについて

(地震動・液状化・急傾斜地予測結果、津波想定に関する経過報告、今後のスケジュール 等)

②県内活断層地震被害想定の見直しについて

5 主な委員意見

①南海トラフ・周防灘断層群地震津波被害想定の見直しについて

【地震動・液状化・急傾斜地予測】

- ・前回調査との震度の違いについて、震度階級だけでは大きく変化したように見える場合があるため、計測震度の値も示すなど、実際の差が分かるようにしていただきたい。
- ・地盤モデルについて、追加のボーリングデータがある地域とない地域では精度に差があることから、地盤モデルの更新方法やその妥当性について確認していただきたい。
- ・今回作成した地盤モデルについて、可能であれば過去に発生した地震の観測記録等を用いて検証すると、モデルの妥当性がより分かりやすくなるのではないかと。
- ・大規模盛土造成地について、切土と盛土の関係が分かるよう資料の表現を工夫するとともに、谷埋め盛土の幅や深さ、地下水位等を踏まえた滑動のしやすさについても、可能な範囲で検討していただきたい。
- ・急傾斜地や地すべりの危険度については、地質構造や過去の地すべり地形等も影響するため、被害想定への反映が難しい場合であっても、こうした要因に留意する必要がある。
- ・岩国空港周辺や佐波川流域など、前回調査や国の被害想定と今回の結果に違いが見られる地域について、地盤モデルの更新や解析手法の変更による影響を詳細に確認していただきたい。
- ・最終的な報告書では、被害想定結果だけでなく、解析手法や計算上の設定条件等についても具体的に示していただきたい。

【津波浸水想定】

- ・津波による浸水については、河川遡上だけでなく、堤防の損傷等により海岸から浸水する場合もあることが分かるようにしていただきたい。

- ・今回モデル化していない河川もあることから、小規模な河川からの津波遡上にも注意が必要である。また、漁港の船舶や漁業関係者への被害についても、可能な範囲で被害想定や注意喚起に反映していただきたい。
- ・国の被害想定との比較について、浸水面積だけでなく津波高についても比較し、違いが分かるようにしていただきたい。
- ・津波浸水想定について、堤防が損傷・機能しない場合だけでなく、堤防が機能する場合の結果についても示していただきたい。
- ・前回調査と比べて浸水面積が増加していることについて、地形データの詳細化、計算手法の変更、対象河川の増加など、どのような要因が影響しているのか整理していただきたい。
- ・津波浸水想定図の凡例について、国の基準との整合を図りつつ、県内の浸水深の状況を踏まえ、県民にとって分かりやすい色分けや表示方法を検討していただきたい。

②県内活断層地震被害想定の見直しについて

- ・県内活断層地震被害想定における想定地震の候補について、事務局案をもとに検討を進める。